

令和6年5月定例教育委員会議事録

1. 日 時：令和6年5月27日（月）13時30分～16時00分

2. 場 所：離島開発総合センター 中央会議室

出席委員：委員 中村好秀 委員 升水裕司  
委員 浦いせ子 委員 横山明美  
教育長 中村慶幸  
事務局 教育次長 牧尾 豊  
教育生涯学習班長 山元忍  
図書館係長 津田朋子（欠席）  
文化財係長 平田賢明（欠席）  
教育総務係長 坂井翔

3. 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

(2) 教育長報告

(3) 協議事項

1) 令和6年度夏季休業中の学校閉庁日の設定について

(5) 報告事項（4/20～5/18分まで）

1) 各種委員会、協議会等について

報告第5号 第1回学校運営協議会（4/24）

報告第6号 第1回放課後子ども教室運営委員会（4/30）

報告第7号 ながさきピース文化祭第1回小値賀町実行委員会（5/1）

報告第8号 第1回北松西高校魅力化推進協議会（5/15）

2) その他

① 第1回特別支援教育コーディネーター連絡協議会代表者会・実務者会（4/22）

② 第1回小中高一貫教育合同会議（4/23）

③ 令和6年度よりみち塾開始について（4/24）

④ 松くい虫防除協議会（5/9）

⑤ 令和6年度第1回地域史研究講座（5/9）第1回地域史研究講座（基礎講座）（5/16）

⑥ 中高合同体育祭（5/13）

(6) その他

① 6月行事予定について

② その他

次回定例教育委員会の日程

6月27日（木）13時30分～

事務局 (教育次長)	それでは、ただ今から5月の定例教育委員会の方を始めさせていただきます。 それでは、進行の方を中村教育長、よろしくお願いします。
教 育 長	<p>皆さんこんにちは。お疲れ様でございます。</p> <p>今日は、始まります前に、傍聴の方が1名、お見えでございます。</p> <p>教育委員会の傍聴人規則第1条に基づきまして、これを許可したいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>先日、小学校の運動会がありましたけれども、晴天に恵まれて、無事開催されました。プログラムにもですね、工夫が凝らされていて、小学校5、6年生のプログラムで、入場退場する時にですね、観覧されている皆さんを楽しませる工夫がされていて、非常に良い運動会だったなというふうに思っております。</p> <p>5月13日には、中高合同体育祭が行われましてですね、無事小学校、中学校、高校ですね、行われていると思っております。</p> <p>6月13日には、小中高の合同行事であります海浜清掃が予定されておりますけれども、新聞等でも報道されてますけど、4月24日から熱中症特別警戒アラートが、新たに運用が始まっております。</p> <p>5月17日の小中高一貫教育の地区推進部会の代表者会におきまして、部活も含めてですね「迷ったら、勇気をもって中止してください。」ということを経長先生、教頭先生方にお伝えをしております。保護者も心配ですので。</p> <p>宮崎県の高校ですね、サッカーの練習試合中の事故もありましたけれども、何よりも命を守る行動が最優先ということで、お話をさせていただいたところで、教育委員会に関しましては、事務局に関しましては、よりみち塾、合唱団、地域史研究講座、世界遺産マイスター検定講座、部活動の地域移行ですね、予定どおり何事もなくといいますかですね、支障なくスタートできているというふうに思っております。世界遺産マイスター検定講座につきましては、今回また6名の希望者があったということですね、先ほど私スタートと言いましたけど、このマイスター検定講座だけは、まだスタートしておりませんで、5月28日からになります。地域史研究講座もそうなんですけど、多くの皆さんにですね、受講していただいて大変嬉しく思っておりますし、皆さん方の知的好奇心を満たしつつ、その中からですね、重要文化的景観とか世界遺産関係についてですね、啓発していくためのですね、ご協力がいただければありがたいというふうに思っております。一方、出遅れておりました「ながさきピース文化祭」に関しましてはですね、5月1日に小値賀町の実行委員会を行いまして、5月14日に第1回の企画会議、実行委員の下にといいますか、企画部会というふうに設けさせていただきまして、そこで企画を計画検討していただいているんですけど、23日には、そのメンバーのまた一部で企画会議ミニミーティングっていうのを実施しております。5月30日には、第2回の企画会議が予定されておまして、今月末締め切りとなっております。令和7年度の事業計画案、予算案を提出する予定となっております。5月19日には、わくわくウォークラリーを実施しましたけれども、今回は前方ですね、92名の参加があつてですね、笛吹、中村と、3年続けてウォークラリーって形で実施してるんですけど、多分1番、この3年間で1番参加が多かったなと思っております。</p> <p>スタッフについてもですね、一般公募を行いましたけれども、7名の方ですね、お手伝いいただきまして、劇団とんととか山学校とか、従来から協力をお願い</p>

いしているスタッフも合わせて、20数名で運営に当たることができました。

官民協働を推進している中でですね、一般の方がこれだけ手を挙げてくれたっていうのは、大変嬉しく思っております。

これも初めてなんですけど、ウォークラリーをスタートする前に、平田係長に前方地区のですね、生活文化に関しまして、10分ほど解説をしていただいて、それからスタートという形をとったんですけど、筒井浦の港で天気も良くて、野崎が綺麗に見えておりましたので、私、別のところに配置する関係で、話が聞けなかったんですけど、重要文化的景観とか世界遺産の周知啓発ができて、非常に良かったかなと、社会教育係とその文化財係の庁内連携といいますか、そういった形で事業ができて、参加された方からですね、非常に良かったというふうにお話を伺っておりますので、続けていければなというふうに思っております。

先日25日には、小さな気づき勉強会をホールの方でさせていただきました。

20数名の方に参加していただきましたけれども、また6月2日にはですね、子育て支援講演会を予定しておりますので、お願いしている先生がですね、1度お話を私聞いたことがあって、ぜひその話をこちらの保護者の皆さんに、聞かせていただきたいということでお願いをして、来ていただくことになっておりますので、委員の皆さんも、時間がおありであれば、ご出席いただければと思います。一方で、民間活動に関しても活発化してきておまして、子供舞台鑑賞事業、それから地区公民館活用事業といったですね、教育委員会が事業提案公募を行って、それを経て予算化した事業以外にもですね、ピアノ教室の発表会と記念コンサートについて教育委員会、公民館の後援依頼、これは町長、小値賀町の方にもあってるということなんですけれども、後援依頼がっておりますし、環境保全関係のイベントをセンターで行いたいという希望もあります。

また、これは教育委員会に相談等はあってないんですけど、前浜公園ですね、以前もありましたけど、そのバザーとかワークショップ、それがですね、有志によって開かれると聞いております。公共施設の有効活用という点でも、非常にいい動きだなというふうに喜んでいるところです。

5月23日にはですね、社会教育委員会、公民館運営審議会、離島開発総合センター運営協議会、この3つの会議を統合した初めての合同会議を行いました。

委員さんからはですね、やっぱりそれぞれの委員さんがおられますので、自分が所属している協議会といいますか、委員会以外のテーマについて、ちょっと意見が出しづらいというようなご意見もありましたけれども、また、今年度秋頃2回目を予定しますので、その時にですね、もう少し整理工夫して臨みたいと思っておりますけれども、社会教育をソフト・ハードの両面からですね、協議、意見交換する場として、また社会教育関係会議をですね、合理化による業務の棚卸としてもですね、近い将来、社会教育委員会に一本化できればいいなというふうに思っております。いずれにしても、課題に向き合ううえで、会議や行事のあり方を考えていきたいと思っております。

最後になりますけれども、明日ですね、長崎県市町村教育委員会連絡協議会総会と県市町の教育委員会合同研修会がありますけれども、研修会は5つの分科会に分かれてになりますけれども、委員の皆さん出席していただけるということで、天気も問題なく日帰りできそうですので、よろしく申し上げます。

また、その他ですね、またお伝え、お繋ぎすることもございますけれども、そこは事務局をお願いをしたいと思っております。

	どうぞ最後までよろしくをお願いします。
事務局 (教育次長)	ありがとうございます。それでは、議事の方よろしくをお願いします。
	<b>3 附議案件</b> <b>(1) 前回議事録承認の件</b>
教育長	附議案件ですけれども、まず(1)の前回議事録承認の件ですけれども、前回の議事録で何かございましたでしょうか。 休憩中の議論が多いんですけれども、休憩中は除いていただきまして。
升水委員	やっぱり、あの休憩中の議論内容は上げるんですか。
教育長	いいえ、上げてないです。それは、教育委員さんに見ていただくだけです。公表するときには除いてます。
升水委員	おいたちにもよかごた。
教育長	意外と休憩中の議論の方が、すごい中身があったりするので、一応確認のためにも議事録に起こして、委員さん方にも見ていただくような形にはしますが、必要ないということであれば、事務局は喜ぶと思いますので、議事録に起こすのを本会議の中だけにしてもいいんですけど。
升水委員	事務局の事務量がね、それでどうのこうの、ひどく変わることはないかもしれないけど、なるべく、もう削除していった方がいいと思うんですけど。
教育長	今、事務局の事務負担をです、ね、平準化するために係長以下です、ね、議事録作成を担当で回してます。以前は次長が1人でやっていた、それが大変だと思いましたが、1年近く私がやっていたんですけど、それを踏まえてです、ね、みんなで負担を分け合う、それから、どこの部署に行っても会議の議事録とか、まとめないといけませんので、そういう経験を踏むうえでもです、ね、当番制でやりますので、1年に多分2回か、それぐらいだと思います。 回ってくるのがです、ね。その1回2回が大変ではあるんですけど、確かに言われるようにです、ね。
中村委員	休憩中もカットしてもらっていいです。
升水委員	そいけん、休憩中をカットしてもらった方が、特に順番に回るとるっていうんだったら、ここに出席していない人達も、要するに議事録を作る可能性はあるとですよ、ね。
教育長	はい、あります。
升水委員	職員の中で、出席してない方も作る可能性はあるとですよ、ね。

教 育 長	あります。ただ、だから出席するようにした方がいいってことで、やっぱりニュアンスが伝わりにくいんですね。ただ、結局、なかなか出席できない現状もありますので、それは、休憩中のことだけじゃなくですね、本会議中のやり取りでも同じことなんですけど。カットしましょうか。
升水委員	はい。いいと思います。
教 育 長	よろしいですかね。
升水委員	はい。
教 育 長	事務局、次回からというか、この会議から、もう休憩中の話は議事録に起こさない、要点筆記ぐらいはした方がいいかもしれないですけど、それはこちらのためなんで。皆さんのためっていうよりも。
升水委員	要点筆記も、今度は大変よ。
教 育 長	例えば、委員さんの個人的な意見とか、そういうのはもう、そういうのが多いんですけど、だから大したことはないと思います。 要点をまとめるっていうのは。前回の議事録に関しては大丈夫ですかね。
教育委員	はい。
教 育 長	ありがとうございます。
<b>(2) 教育長報告</b>	
教 育 長	続きまして(2)の教育長報告ですけれども、この中で何かありましたでしょうか。
浦 委 員	はい。
教 育 長	はい、お願いします。
浦 委 員	教育長報告じゃありませんけど、県の動向のところ、県のですね、資料で言いますと、6ページです。6ページを開いてください。 いいですか、(1)番の令和6年度「学校メディア宣言の実施について(依頼)」って書いてますね、これは、どういった、内容的にちょっと、私分らないんですけど、どういうことなんですか、学校メディア宣言って言いますと。 何をやるんですか。「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の取り組みの1つとしてって、書かれていますけど、どういう宣言なんだろうか。
教 育 長	事務局、報告のファイルはありますか。

事務局 (教育次長)	<p>あります。はい。実施要領ですけど、期間が令和6年4月から7月ということで、県内の小中学校ということになってます。</p> <p>その実施要領の中にですね、実施方法が書いているんですけども、それに沿って実施をしていただきたいというふうな内容になっているところです。</p>
横山委員	<p>このメディアって言ったら、スマホとか、そういうパソコンとか、それが主ですよ。メディアって言ったら、テレビもメディアの1つなんだろうけど。</p>
教育長	<p>テレビもそうです。</p>
横山委員	<p>テレビも含めてっていうこと、メディア全般のことを言ってるわけですね。</p>
教育長	<p>はい。</p>
浦委員	<p>ただ、この前の石橋先生の講演も繋がってきますよね。</p>
教育長	<p>期せずしてと言いますか、はい。</p>
浦委員	<p>はい。そうですね。分かりました。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p>
中村委員	<p>この間、中学校1年生は道徳の時間で SNS の扱い方とかで学んで、SNS の情報とかで他人を傷つけていないかとか、そういうことを学んだっていうのが学校案内にありましたね。</p>
教育長	<p>ほか、教育長報告で何かございますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p><b>(3) 協議事項</b></p> <p><b>議案第1号 令和6年度夏季休業中の学校閉庁日の設定について</b></p>	
教育長	<p>続きまして、(3)の協議事項、令和6年度夏季休業中の学校閉庁日の設定についてということで、事務局からお願いします。</p>
事務局 (教育次長)	<p>はい、事務局です。協議事項、夏季休業中の学校閉庁日の設定についてということで、追加の方で協議案件を送らせていただいております。</p> <p>ちょっと追加になって、大変申し訳ございません。</p> <p>この件につきましては、夏休みのですね、期間中における学校の閉庁日なんですけど、つまり、夏休みの期間、学校に先生がいない期間というふうに考えてい</p>

ただいてよろしいかと思うんですけども、その期間の設定を毎年していただいております。この件についてはですね、学校における働き方改革の取り組みの徹底ということで、平成31年の方に文科省から通知というか、文書が出ております。それに伴ってからの設定ということになっておるんですけども、今年度におきましては、カレンダーの方を参考にお配りをさせていただいております。

8月9日が登校日の方に予定になっておりまして、県下大体翌日の8月10日から設定される市町の方が多くございます。

で、本町におきましては、8月10日から土日を含むですね、8月18日までの9日間を設定してはどうかということで考えております。

この期間中は、部活動も含むですね、時間外勤務も一応休みとするというふうな考えのもとに設定をさせてはどうかというふうに考えております。

その他の方で、4項目を挙げておるんですけども、学校閉庁期間中は、原則部活動は行わない。学校閉庁期間中は、学校施設の開放はしない。ただし、特別の理由がある場合は、教育委員会事務局が対応するというので、対応していきたいというふうに考えております。土日祝日を除く学校閉庁日はですね、全ての教職員が年次有給休暇等を取るようにするというようにしております。

最後に、学校閉庁日における、学校に関する緊急の連絡先は、教育委員会事務局が対応するというふうに、行っていきたいというふうに思っております。

参考に、県下市町の状況の方を書いております。新上五島町さんにおいては、8月10日から8月18日の9日間、波佐見町は、8月10日から16日の7日間というふうになっております。また、川棚も本町と同様な期間の設定をしているようです。一番最後に、昨年度の学校閉庁期間の方を載せさせております。

以上が協議内容資料説明になります。よろしくお願いたします。

教 育 長 はい、ありがとうございます。部活動がある中学校の意見も聞いたうえでの設定案ですけども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

教 育 委 員 はい。

教 育 長 はい。ありがとうございます。それでは、協議事項に関しまして、ご承認をいただきました。

#### (4) 報告事項 (4/20～5/18分まで)

##### 1) 各種委員会、協議会等について

##### 報告第5号 第1回学校運営協議会 (4/24)

教 育 長 続きまして、(4) 報告事項、4月20日から5月18日分までですけども、まず1) の各種委員会協議会等についてということで、報告第5号 第1回学校運営協議会、これに関しまして、何かございましたら、よろしくお願いたします。何かございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

升 水 委 員 よかですか。

教 育 長 はい、お願いたします。

升水委員	<p>協議事項の中の④ですかね、2ページ目の④。</p> <p>最近、募集チラシが各地区に、各家庭に回ってきたんですけども、おちか学校サポーターについてということで、募集が来てたんですけども、現在の応募状況をちょっと教えていただきたいと思えますけど。</p>
事務局 (班長)	<p>はい、事務局です。今現在の状況としてましては、私が把握してる中ですけども、4名来ております。学校支援の方がお2方、学校の施設維持管理の方がお2方という形で、今、来ております。</p>
升水委員	<p>はい、分かりました。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。小中学校のグラウンド整備も事務局の職員が定期的に行っておりますので、その辺もですね、今現在は、もう学校が手が回らないですし、子供がグラウンドを使う頻度は少ないですので、草も伸びやすい状況ですね、もうひとつは、学校管理の環境も変わっておりますので、その辺でもご協力いただければと思ってますんで、事務局よろしくお願いします。</p> <p>報告第5号、以上でよろしかったでしょうか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
	<p style="text-align: center;"><b>報告第6号 第1回放課後子ども教室運営委員会（4／30）</b></p>
教育長	<p>続きまして、報告第6号、第1回放課後子ども教室運営委員会について、よろしくお願いします。</p>
浦委員	<p>⑥ その他のところに、東店の子ども達は、子ども達の声を聞こえて、すごくいいっていう。で、旧樋口邸っていったら、その前の今張ってる、あそこですかね。</p>
事務局 (教育次長)	<p>そうです。</p>
浦委員	<p>あそこは何かまだ、どうするのか分からない。家の建つ訳じゃなかよ。建つ予定なんですかね。じゃなくって、そのまま。</p>
事務局 (教育次長)	<p>事務局です。そのとおりです。</p> <p>場所的には、旧樋口邸は、建物がなくなった場所になります。</p> <p>ちょっと今、管理の方がですね、ちょっと状況が不十分ですので、ちょっと草が伸びてる部分がありますので、そこについては、適切に管理するように、所管が総務課になっておりますけども、どこの課というわけじゃないんですけども、という訳ではなくてですね、適切に管理をしていくように努めていく必要があ</p>

	<p>るというふうに思っておりますし、その跡地の利活用についてはですね、検討してはいますが、どのようになるということは、まだはっきり決まっています。防災拠点のひとつとかという意味も含めてですね、ちょっと今考えているところです。</p>
横山委員	<p>どういう、どのようになる、すいませんいいですか。</p> <p>どのようになるっていうことを決めてないっていうことは、まだどのようになるっていうことも、まだ決めてないっていう、もう全く決めてないってことなんですかね。空き地として、例えば、あそこの新町方、蛭子町っていうとかね、あそこの、みたいに、単なる広場にして、ベンチを置いてっていう、そういうのもありっていうことなんですか。</p>
事務局 (教育次長)	<p>事務局です。元生産組合の跡地みたいにベンチを置いてですね、色んな町民の方、若しくは観光客の方が集える場所についてということで、活用案としては持っております。まだ建物をそこに建てるというふうなやつは、ちょっとまだ決まっていないというか、持ってませんけども、そこをちょっと今検討中ということです。</p>
教育長	<p>すいません、しばらく休憩します。再開します</p>
	<p><b>報告第7号 ながさきピース文化祭第1回小値賀町実行委員会（5／1）</b></p>
教育長	<p>続きまして、報告第7号 ながさきピース文化祭第1回小値賀町実行委員会について、何かございますでしょうか。出遅れを今班長が一生懸命挽回しております。大丈夫ですかね。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
	<p><b>報告第8号 第1回北松西高校魅力化推進協議会（5／15）</b></p>
教育長	<p>続きまして、報告第8号、第1回北松西高校魅力化推進協議会について、何かありましたら、お願いします。</p>
横山委員	<p>すいません。</p>
教育長	<p>はい。</p>
横山委員	<p>さっきのながさきピース文化祭の、すいません、(4)のその他の、ちょっと抜けてるんじゃないかなっていうことを、文言があった、文章があったんですけども、(4)その他の県世界遺産課もピース文化祭に合わせて、世界遺産のPR事業を考えてるのでっていうのを、考えて、てがいるんじゃないかなと思います。すいません、細かいところで。抜けてるのかなと思って。</p>

教 育 長	失礼しました、修正しておきます。ありがとうございます。 報告第8号に戻っていいでしょうか。
横 山 委 員	はい。
教 育 長	報告第8号で何かありましたらお願いします。大丈夫でしょうか。
横 山 委 員	質問していいですか。
教 育 長	はい、お願いします。
横 山 委 員	すごく活発な意見が出て、読んで面白いなと思いつつ、思っていたんですけども、この、何ていうか、魅力化推進の方向性っていうか、結局、まだ定まっていっていいことですよ。意見は沢山出て、活発な意見、色んな意見が出てますけども。
事 務 局 (教育次長)	<p>はい、事務局です。令和6年度の高校魅力化につきましては、昨年度とちょっと内容の方が変わっております。地域探究を柱に取り組んでいくっていうのは、引き続きあります。その中で、小値賀だけじゃなくて佐世保市、佐世保というか島外の地域へも足を運んでアンケート調査を行ってやりたいと。</p> <p>そこには、アントレプレナーシップというか、起業家精神を行う事業も入れながら、その地域探求活動を行っていきいたいというのが、大きく1点目。</p> <p>で、2点目が、英語教育推進ということで、海外の修学旅行を昨年度実施をしてたんですけど、旅費の高騰化も踏まえまして、令和6年度については、東京の方で、異次元の英語体験ができる施設がありますので、そこでの英語体験を通してから英語教育を学んでいくということと、ALTの派遣事業を活用してですね、小値賀、北松西高校生に、高校にALTの派遣事業をして、英語教育を伸ばしていこうというのが、大きく2点目。で、最後3点目なんですけど、キャリア教育の推進、充実、学力の保障ということで、小論文とかがですね、大学入試とか、そういう、必須になっているようです。そういった対策、キャリアに向けての対策を取るということで、小論文とかの講座ですね、専門の先生に来ていただいて、伸ばしていこうというふうな中身が、今年度の内容になっております。</p> <p>簡単ですけど、事業内容でした。</p>
横 山 委 員	ありがとうございます。もう一点、方向性っていうのは、大体読んでいても、今報告いただいた分でも分かるんですけども、1番の目的、目標っていうのは、高校、北松西高を存続するために、その人員を維持する、増やす、維持したり増やしたりするっていうことが、元々の狙いっていうか、そのためのちかまる寮であったり、魅力化推進事業であったりするって思うんですけども、その、なんていうか、細かいところで色んなところで、色んな、こう、何か芽が出て、活動してる中で色んな芽が出てるっていうところは、よく分かるんですけども、高校生の数を増やすっていうことに繋がっていくのかどうか、そして、その問題が一番の課題ではないかっていうところを、なんていうか、そのために色んな活動をし

<p>中村委員</p>	<p>ているわけですが、何か急がれるんじゃないかなって、ちょっと思ったもの        ですから。高校生の数を増やすためにはとか、今いる中学生が高校に魅力、高校        に行って入学するためにはとか、そういう具体的案っていうのが、なかなかでき        ないっていうのは分かるんですけども、そこら辺の何か報告、報告書を読んでい        たら、なんかすごく色々な活発な意見が出て、面白いなっていうふうに思ったん        ですけど、どうなんですかね、繋がっていくんですかね。</p> <p>合わせてちょっといいですか。確認なんですけども、これは、令和6年度の事        業計画案は、学校がっていうか、この魅力化推進会議が提案したっていうことな        んですよ、その案を。この会自体は。この役員選出の後に、令和6年度事業計        画案についての説明があったっていうことなんですよ。</p> <p>で、それが、例えばさっき牧尾さんが仰った1、2、3番の内容で、これは、        承認されたっていうことなんですよ、今回、ここで。</p> <p>で、この他に出てるこの事業については、令和7年度に対してこういうことを        やったらどうかっていう意見が出たという感じでいいんですかね。</p> <p>途中で、今年のことじゃないです、みたいなやり取りがあったと思うんですけ        ど、途中で。</p>
<p>事務局 (教育次長)</p>	<p>はい、事務局です。令和6年度の事業についても、もっとう、やること、承        認、承認というか、理解は示していただいたんですけど、もっとういうことも        できるんじゃないか、6年度中に、できるんじゃないでしょうかというふうな話の含み        を加えた議論になっております。で、難しい内容というか、予算化のこともあり        ますので、難しい内容については、令和7年度というか、次年度以降しか対応で        きない部分もあるんじゃないのかなというふうな話が出たかなというふうに思        ってます。</p>
<p>中村委員</p>	<p>はい。ありがとうございます。そしたら、この令和6年度事業案を見る感じ        でいくと、よそからやって来るのを増やすっていうよりも、今いる子たちをどう        しようか、もっとよくしたい、できるんじゃないかというのが大体。</p> <p>で、4番の広報戦略についてが、外からに対しての意見っていう形でいいんで        すかね。</p>
<p>事務局 (教育次長)</p>	<p>はい。</p>
<p>中村委員</p>	<p>分かりました。</p>
<p>事務局 (教育次長)</p>	<p>小値賀の中学生、小値賀の子ども達に、やっぱり選んでもらえる高校になるべ        きというふうな話がありますし、引いては、よそから見た時に、小値賀に来て、        行きたいというふうに思える学校になべきじゃないのかなっていうふうなところ        があつての議論になっていると思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>親御さんが北松西に自分の子どもを行かせたい、地元の子どもが行きたい、ど        ういうふうな高校であれば、そういうふう思うんだろかっていうところで、</p>

	<p>予定より遅れてますけど、アンケートを取るようにしています。</p> <p>で、そこで、地元の保護者や子ども達の意見、気持ちっていうのが一定分かってくるのかなと思いますので、そのアンケートの結果を踏まえて、また来年度以降に向けてですね、協議をしていくっていうことになると思います。</p> <p>魅力化っていうのも色々あるけんですね。</p>
升水委員	<p>そうね。</p>
教育長	<p>議会の質問があったみたいに、奥尻みたいなスキューバライセンスが、資格が、潜水士の国家資格が取れるとかですね、そういう特定の分野に絞った魅力化っていうのもありますし、海士町みたいに、地域資源自体を学びのフィールドにっていうところもありますし。で、よく学校から言われるのは、意外とうちは、特に小中の話でもあるんですが、教材費が無償っていうのは、びっくりされる、来てびっくりと。で、修学旅行に補助があるっていうのもびっくりすると。</p>
横山委員	<p>それって、教職員がですか。</p>
教育長	<p>そうです。そういう話は、教職員っていうか、校長先生方からそういう話を聞いています。そういうのをもっと PR したらどうですかっていうお話もありますし、ですので、その魅力化っていうのも、私達としては、あんまり今まで積極的に PR してこなかった部分の中にも魅力があるのかなと思うしですね。</p>
升水委員	<p>休憩中じゃなかとですよ。</p>
教育長	<p>休憩中じゃないです。</p>
升水委員	<p>今言われたように、教育長が言われたように、魅力化っていうのが色々あってですよ、学校の内部の中で、修学旅行は無償になるとか、教材費が無償だとかっていうのは、外部から見たら、親がいいなっていう、学資が、学費があんまりかからんっていうことで、親がいいなと思うことであって、子ども本人は、別にそれがただであっても、子ども本人は、あんまり意識せんちゃんかなろうかなっていう、逆に思うんですね。外に、外部にそういうふうな PR をしたとしても、子どもの受け方っちゃうのはそうじゃなくて、例えば、さっき言われたスキューバダイビングの資格まで取れるような準備ができますよとか、極端な話、私もずっと英語ば言よとですけど、小値賀の学校に来たら、ある程度英会話が喋れるようになります、これは夢んごた話ですけど、英会話が喋れるようになりますとかって、そういうふうな PR ばせん限りは、なかなか子どもには、アピールが届かんちゃんかなろうかっちゃうふう思うっすね。</p> <p>それと、小値賀の子ども達が、どうしてその、よその学校に、高校に行きたいのかって言えば、やっぱり10人とか10何人しかいない子ども達の中で、例えば、工業系に行きたいとか、違う学科に行きたいとかいう人達とか、部活が小値賀にないけん、よその部活のサッカーに行きたいとか、野球に行きたいとかっていう子たちが出てくる可能性は今後もあるもんね。</p> <p>そうした時に、10人の中の2人とか3人とかそういうふう抜けたら、も</p>

	<p>う、随分少ない状況で、高校の魅力化をいくら上げても、そういうものはカバーしきらんっちゃね。部活がどうのこうのとかっていう話は、カバーしきらん話なんですよね、その魅力化っていう。だから外部から連れてくるしか手はないし、そしたら、やっぱりアピールせんばいかん。</p> <p>アピールの魅力化っていうのは何なのかつち言ったら、学校の中でチマチマやってたのをPRしても、これ、みんなこの学校でもやりよるよとかっていう話になって、そこば乗り越えるような、なんか、魅力化っていうか、やっぱりさっきのスキューバーとかね、そういうのば出してこんば、無理じゃなかるかって思いよるとですけど。私の考えです。すいません。</p> <p>ただ、私この委員会をです、魅力化推進委員会の委員も、これから、今始めとるとですけど、でも、今こう見よったら、すごい意見を、活発に出るとですって、今、思いました。</p>
横山委員	<p>この間、高校の先生と、新しく入った高校の先生が、壱岐から来た高校の先生が、スキューバダイビングは、どこでもこの頃しよるもんねっていうふうに、何か言うて、もっと新しかもんば考えんばよっていうふうなことを言われて、何か気持ちがグッシャリきたんですけども、なんか、この、なかなか難しいなと思っています。</p>
升水委員	<p>すいません。水産高校以外で、やっぱり、そういうスキューバダイビングとか、そういうのをやっているとところが多いんですか。</p>
横山委員	<p>なんかね、そこは、どこでもやるよりやろうがって。どこでもっていうか、やっているとところは、結構あるとかっていうふうに言われたとですけど。</p>
升水委員	<p>調査せんば。</p>
教育長	<p>ほか、ございますでしょうか。大丈夫ですかね。</p> <p>先ほども言いましたように、地元の親御さんや子ども達に気持ちを聞く、アンケートという形ですけど、前も中村委員さんからも、そのアンケートとかじゃなくても、面談とか、直接そういう声を聞いたらどうかっていうご提案をいただいていますけど、そういう機会を作りながら、魅力化についてですね、多分、この高校魅力化協議会だけで協議できるものでもないですね。</p> <p>学校運営協議会もまた別に、委員のかぶりはいくらかありますけど、別にありますし、ふるさと留学協議会でも、高校生特化型のプロジェクトも始めますし、色んなところで高校の魅力化の、存続に向けた魅力化っていうことになると思うんですけど、そういった議論がある中でですね、これからのに向けて議論しながら方向性をですね、決めていくっていう。</p> <p>ただ、やっぱり特別の教育課程っていうのは、前にも言ったと思いますけど、それをやるには、その地域の、極端に言えば、普通科じゃなくてとかっていう話になってくると、もう県との調整自体必要ですけど、なかなか長期的、安定的にそういう特色あるプログラムを提供し続けていく体制ができないと、やっぱ難しいですのですね。</p>

中村委員	ちょっと休憩してもらっていいですか。
教育長	はい、しばらく休憩します。再開します。 報告第8号第1回北松西高校魅力化推進協議会について、ほかございますでしょうか。大丈夫ですか。
教育委員	はい。
教育長	はい、ありがとうございます。
<b>2) その他</b>	
教育長	続いて、2) その他の報告事項ですけど、6項目ございます。 この中で、何かございますでしょうか。大丈夫ですかね。
教育委員	はい。
教育長	ありがとうございます。 一応、協議事項、報告事項は終わりましたけれども、5番目のその他ですけど、行事予定については、いつもどおり後で確認してもらってことでよろしいですよ。
教育委員	はい。
教育長	では、その他で事務局からありますよね。
事務局 (教育次長)	はい。
教育長	お願いします。
事務局 (教育次長)	1点目が、本日資料でお配りしています、令和7年度人事異動並びに教育行政に関する要望についての事務局案をお示しさせていただいております。 来月6月21日が、県への書類提出期限になっております。 本日は、このことにつきまして、ご意見いただければなと思っております。 ちょっと事前配布ができなくて、大変申し訳ございません。 中身につきましては、先ほどにもありますけども、小中学校における英語教育のですね、改善について、特段配置をお願いしたいということです。 小学校の高学年から英語教育の方がスタートしておりますので、それを受けてですね、英語専科の先生の配置と、並びに小中高一貫もありますけども、中学校においてはですね、2名の英語教員の先生を配置させていただいております。 このことにつきましてですね、引き続き計画的な配置をお願いしたいというのが1番です。2番目は、小中高一貫教育で、教員の加配を今、中学校にいただいております。講師ではなくというのはあれなんですけれども、そこにおいてで

	<p>すね、引き続き加配をお願いしたいというのが2番目です。</p> <p>3番目が、離島部における要望の1つになるんですけども、3年周期になっている部分があるんですけど、異動がですね。</p> <p>これについて、やはり本人が望むのであればですね、その延長について認めてほしいというのが、見直しをしていただきたいというのが、人事異動の3番目になります。で、ページめくっていただいて、次のページに教育行政に関する要望ということで、通級指導教室の方が今年度4月から中学校でスタートしております。その部分ですね、に、なっております、その教職員の確保が必須になっておりますので、そのレベルアップというか、研修の機会の確保というのが、必要じゃないかなということで、要望の1つ目で挙げております。</p> <p>内容については以上となっております。文言についてはですね、一部修正してから出す必要があるかなと思っておりますけども、ご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
教 育 長	<p>ご意見をいただく前に、ちょっと補足ですけども、1ページ目の要望2のところですね。前回だったと思うんですけど、中村委員さんから特別支援学級、特別支援教育ですね。それについて、うちの学校コーディネーターがですね、今も講師ということで、いわゆる教諭の配置が必要なんじゃないかというご意見をいただいておりますので、その辺も加筆したうえでですね、要望を出したいと思っております。大丈夫でしょうか。</p>
横 山 委 員	<p>すいません。</p>
教 育 長	<p>はい。</p>
横 山 委 員	<p>加配について、必要であるのかないのかってところが、よく分からないので、中身がですね、中身ってというか、その子に対して、そのクラスに対して加配が必要かどうかという判断が分からないってというか、必要であるならば入れた方がよかったっていうぐらいにしか思えないのが本当の気持ちですね。</p>
升 水 委 員	<p>横山委員さん、どこば言いよつとですか。</p>
横 山 委 員	<p>特別支援の配置っていうところ。</p>
教 育 長	<p>しばらく休憩します。再開します。</p> <p>改めて、文章整理は、こちらの方にお任せ、事務局にお任せいただきたいと思いますんですけど、これ以外に何か、これをというのがあれば。大丈夫ですかね。</p>
教 育 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。2点目をお願いします。</p>
事 務 局 (教育次長)	<p>2点目は、人権大会のお知らせを周知させていただければと思います。</p>

<p>事務局 (班長)</p>	<p>はい、失礼します。事務局です。人権大会がですね、8月の1日、2日で長崎県人権教育研究大会の北松大会ということで、佐々と小値賀町の方で8月1日、2日に行われる予定になっております。1日につきましては、特別記念公演ということで、大阪教育大学の名誉教授の森実様が、佐々町の方で記念講演をなさいます。その記念講演の様子につきまして、小値賀町の離島開発総合センターの方でライブ配信を行うということにしております。</p> <p>なお、お知らせとしましては、小値賀町の島宿御縁の岩永太陽さんの方に、小値賀町での取り組みについて、ご講演を、佐々町の方でしていただくということで、今調整をしておるところです。あと、2日の方には、分科会が行われるんですけども、分科会の中の1つの分科会が、小値賀町で行われる予定になっております。そちらの方につきましては、教育委員の皆様方につきましては、ちょっと個別に、町民の方へのチラシとは別にですね、ぜひご参加くださいということで、ご案内の文書を出させていただきたいと思っておりますので、ぜひ参加をいただければというふうに思っておりますので、ご紹介です。よろしく願いいたします。詳しいことはですね、これからの実行委員会で決まっていきますので、また決まっていきましたら、報告差し上げたいと思います。</p> <p>人権大会につきましては、以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>8月ですので、また6月、7月の定例会でですね、また状況が分かってまいりますので、都度、情報共有させていただきたいと思います。</p>
<p>事務局 (教育次長)</p>	<p>事務局です。お知らせが最後1点あります。来月6月17、18、月曜、火曜日で、県の方から学校実態調査の方がある予定になっております。</p> <p>県教育庁から職員が来られてから、月曜日は本校の方で、2日目は大島分校の方に行って、学校の実態ですね、調査を見ていただくということになっております。お知らせしたいと思います。例年、教育委員さんのみなさまに学校の訪問を例年していただいているところなんですけど、この学校実態調査が終わってから、また再度、日程調整をさせてもらいたいと思いますので、お知らせということで、よろしくお願いします。以上です。</p>
<p>横山委員</p>	<p>大体どこら辺で、17、18の終わってからやけんが、6月の下旬頃にあるってことですかね。</p>
<p>事務局 (教育次長)</p>	<p>例年は、6月の下旬から7月上旬ぐらいにやって、行っていました。</p> <p>既に学校の方には打診はしてたんですけど、県の受け入れが終わった後に、ちょっと考えさせてくださいということで、要望が上がってますので、それでまた調整をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>よろしくお願いします。あとは大丈夫ですかね。</p> <p>委員さんからもなかですかね。</p>
<p>浦委員</p>	<p>その他のところで、ちょっと1つだけ、ちょっとお聞きしたいことがあるんですけど、以前ですね、私この分科会の中で、子どもの読書計画の方に参加するこ</p>

とになっています。それで、図書館の方に行って、色々ちょっと事情、色んな話を伺ってきました。町立図書館の方にですね。

その時にですね、私達教育委員会、何年か前だったと思うんですけども、学校の図書館に、司書をぜひ配置してほしいってことを強く要望したことがあるんですね。で、それが、現西村町長さんの時だったのか、西町長さんの時だったのかなと思うんです。で、その時に、分かりましたということで、以前は津田さんが1名だったんですけども、加配していただいて、今もう1人の方が、湯川さん、その人が見えたんですね。ああよかったって思って喜んでおりました。

っていうことは、学校図書館に来てくれるものと私達は思っておりました。

そして、その時に最初の話では、ちょっと図書館の方に配置して、学校の方にも出張じゃないけど、週に何回か出向いて行きますって話だったんですね。

そして、最初の方は行ってたのかなと思うんですけど、現在聞いてみたら、全く行ってませんって話を伺ったんですよ。学校の方にはですね。

そして、私は、何か話が違うと思って、津田さんと話をした時に、町立図書館の方が、仕事が立て込んで手が回りませんと、学校なんかに行く時間、余裕がありませんって言われたんですね。それで、その方が言うにはですね、町立図書館の司書の仕事と学校図書館の司書の仕事は、全く違うんですっていうことを言われたんです。学校図書館の司書っていうのは、学校の授業の進度、内容とこれを把握しておかないと難しいところがあるので、むやみに、こっちの方から口出しはできませんと。だから、そういう関係で、学校の方には行くのは難しいですっていうことで仰られて、現在は行っていないってような話を伺いましたので、そこら辺は、升水さんもその時いらっしゃったですよ。

升水委員 覚えとるよ。知ってる。

教育長 私は初耳です。

浦委員 そうですか。

教育長 はい。

浦委員 学校の方に行ってくれるものとばかり思っていたんですけども、現在、現実には全く行ってない。仕事の中身が全く違うので、ちょっと行っても分かりませんということでした。

教育長 今のお話を聞くと、それ前提で2人目の司書を確保したんですよ。

浦委員 そうです。

教育長 しばらく休憩します。再開します。大丈夫ですかね。  
今回も長時間になりましたけれども、一応、附議案件の全てを終えました。  
本日も長時間どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

教育委員 お疲れ様でした。

16時00分閉会

教育長 \_\_\_\_\_

教育委員 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_